

団体名 心のひだ・きびの美術実行委員会

代表者 田部玄

記載者 田部玄

所在地(市区町村名のみ)

総社市窪木

活動目的 独自に活動を続けている作家間の交流と歴史ある地域社会との交流を通して、それぞれの在り様を見つめ直すこと。そして、ひいては地域社会の文化の向上と社会平和の実現に寄与すること。

団体の紹介

自然のいとなみ、その微妙な姿・身体内実世界・心の襲…に眼差しを向け
 独自の思索・創作活動を続けている。総社ゆかりの作家達によって
 2014年5月に結成。
 地域社会に根差した活動を心がける。今回の事業がオ1弾

助成を受けての活動内容

画聖雪舟ゆかりの古刹宝福禅寺の山門及び方丈・庫裏その他の室内
 全域を使用して、大規模な美術展覧会を開催した。

総社にゆかりのある8名の作家(浅野有紀,田部玄,榎尾聡美,草間
 喆雄,甲田千晴,思玉知己,佐藤陽子,島田清徳)により,“場との共鳴,
 “作家間の共存,”見て下さる方々との共振,”の実現を通して“魂の贈与の場”
 の立ち上げを目指して行われた。

浅野は絹本作品5点。田部は流木による立体6点。榎尾はテキスタイル
 作品の大作1点と他1点。草間もテキスタイル作品(国際コンパ賞作)1点。

甲田は木彫作品2点と他1点。思玉は掛け軸1点と絵画作品大作1点他
 3点。佐藤は絵画作品7点。島田は布による立体作品でインスタレーション。

以上8名の作品で禅寺の室内全域を構成した。

特別プログラムとして,5月3日,4日アーサストーク。5月9日中ムラサココンサート

5月10日岸本和明(奈義町現代美術館長)によるギャリートーク が開催された

助成を受けての成果

総入場者数1998名を得て おおむね好評であった。

特別プログラムにも,それぞれ約50余名の参加者があった。

今後の活動の課題点

場との認知という点では,まだまだ改善すべき点がある。日頃の展示場所(近代的
 な美術館やギャラリー)に慣れたままだと,歴史的建築に対応することの困難さか
 立ちふさがってくるからだろう。歴史的伝統建築の息まかに対応できるよう
 今後も精進していきたい。また,今回参加した作家以外にも,総社ゆかりの
 人材は豊富である。丁寧に掘り起こしていきたい。

問い合わせ連絡先しくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)

